

村づくりりに貢献しています

平成27年度

各種団体決算報告

スポーツ、福祉、交通安全、衛生それぞれの分野で私たちの暮らしをサポートし、村づくりに貢献している4団体の平成27年度決算がこのほどまとまりました。

社会福祉協議会

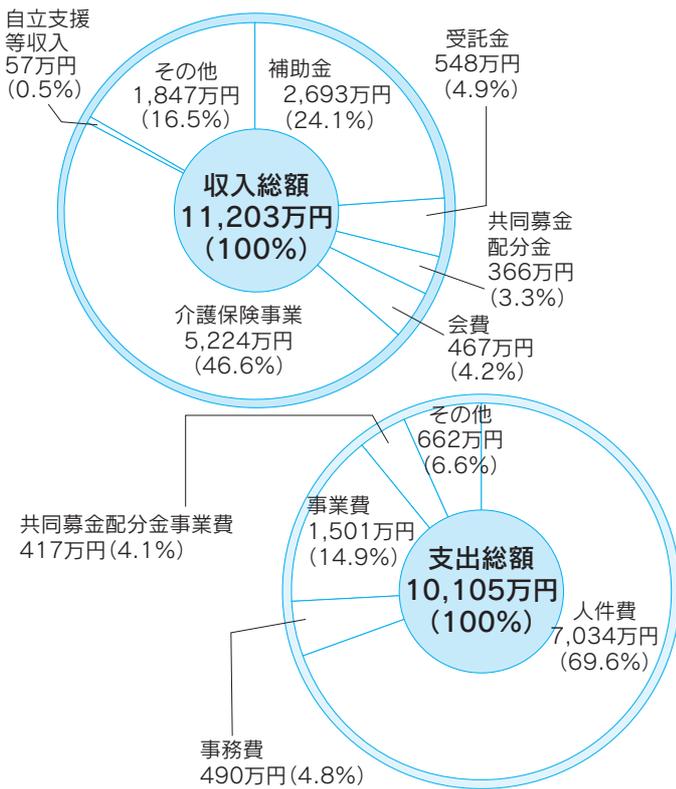


「地域福祉の推進を図ること」を目的として、さまざまな細かいサービスを提供している榛東村社会福祉協議会。

5月27日に開催された評議員会において、平成27年度の事業報告および収支決算が承認されました。

社会福祉協議会は、社会福祉事業、高齢者能力活用センター事業、ふれあい館事業、福祉センター事業の4つの会計により運営されています。

以下、それぞれの会計の決算の概要をお知らせします。



▼社会福祉事業

社会福祉事業の収入総額は1億1,203万円、支出総額は1億105万円です、その状況は、

左に示す円グラフのとおりです。収入の中の補助金は、村から2,693万円交付されました。受託金は548万円は、村支出の一人暮らし老人などへのサービス事業受

託金が大部分を占めていて、共同募金配分金収入は366万円でした。

皆さんのご家庭や事業所からお預かりした会費収入は、467万円でした。なお、会費の内訳は、一般会員が前期4,410戸、後記4,371戸となっています。

また、要支援者および要介護者に居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業などを行う介護保険事業収入が5,224万円でした。

次に支出として、人件費が7,034万円、事務費が490万円、地域見守りネットワーク事業などの事業費が1,501万円となっています。

また、老人福祉活動事業や生活支援事業などを行う共同募金配分金事業費が417万円となっています。

なお、収入総額と支出総額の差額1,098万円は次年度に繰り越されます。

▼高齢者能力活用

センター事業

平成9年4月1日に開設された同センターの主な収入は、事業収入が3,706万円、村からの受託金収入が477万円となっており、主な支出は、事業費が3,615万円、人件費と事務費が合わせて555万円でした。

平成27年度と同センター会員数は75名(平均年齢71歳)で、植木の手入れや草刈り・除草など総受注件数は759件でした。

▼ふれあい館事業

平成21年12月に温泉の供給が再開した、しんと温泉ふれあい館。

平成27年度における開館日数は334日で、入館者数は11万4,744人でした。

この会計の収入は、入館料や売店の手数料等事業収入が5,712万円、村からの指定管理料が1,643万円、収入総額7,355万円でした。

一方、支出総額は同額の7,355万円、全額がふれあい館の運営費でした。

▼福祉センター事業

平成13年5月に障害者の自立支援などを目的に運営を開始した福祉センター「ささえの家」。

この会計の収入は、村からの指定管理料など3,972万円でした。

一方、支出は、心身障害者デイサービス事業などの事業費が564万円で、人件費と事務費が合わせて2,157万円でした。

決算額と収入の予算額の差額については、平成28年度へ繰り越されます。

事業の概要

(1) 支え合い、一人ひとりがつなげる村づくり(情報収集・発信)

◇ 相談事業(心配ごと相談・法律相談を月1回開設)

◇ 広報事業

・ 広報紙第37・38・39号発刊
・ 協議会ホームページ随時更新

(2) 一人ひとりの想いをかたちにする村づくり(互いに学び育む)

◇ ボランティア教室、ボランティア団体活動援助、被災地支援ボランティア活動

・ 応急手当普通救命講習会開催
・ 関東・東北豪雨災害ボランティア活動、防災ボランティア視察研修会、国交省「克雪体制支援

調査事業「片品雪かき体験等」
◇ 世代間交流事業

◇ 在宅介護者教室の開催(受講者39名)

◇ 福祉教育

(3) つながりが生み出すふれあい豊かな村づくり(みんなの知恵を絞り出す)

◇ 民生委員児童委員協議会との連携援助

◇ 安心カード設置事業及びしんとう便利電話帳事業

(4) 協働による安全・安心な村づくり(支援活動の充実)

◇ 安全安心むらづくり事業
・ 見守りネットワーク住民支え合いマップ作成

◇ ふれあい・いきいきサロン(高齢者事業(21地区 248回開催))

◇ コミュニティサロン(ハナミズキ)事業
◇ 小学生見守り事業及び子育てサロン事業

・ シルバー人材見守り事業
(下校見守り 会員20名)

・ 子育てサロン支援事業
・ 子育てボランティア支援事業

◇ であい夢プロジェクト事業(独身者への出合いの場提供)

◇ 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)
◇ 寝たきり老人等布団丸洗いサービス事業(利用者延べ38名)

◇ 福祉機器貸与事業(無償貸与)
◇ 低所得者等対策事業

(5) 地域福祉事業

◇ 共同募金活動

◇ 敬老会開催

◇ 福祉バザーの開催

◇ 戦没者追悼式開催及び靖国神社参拝事業

・ 戦没者慰霊祭を村と共催
・ 戦没者遺族靖国神社参拝(参加者43名)

◇ 母子・父子児童福祉事業
・ 若年母子・父子家庭激励旅行

◇ 障害福祉事業
・ 健康教室を教育委員会と共催(6回延べ83名)

(6) 介護保険事業

◇ 介護保険事業
◇ 居宅介護事業

◇ 一人暮らし老人等事業
・ 配食サービス(延べ1,475食)

・ 新春おせちサービス
(幼稚園児からの手紙を添付)

・ 保養事業(参加者11名)
◇ 老人福祉事業・身体障害児者事業

(8) 村指定管理事業

○ 榛東村福祉センターささえの家
○ しんとう温泉ふれあい館

平成27年度 善意銀行

平成27年度中に善意銀行へ寄せられた物品や浄財を寄付していただいた方々を紹介し、善意銀行運営状況を報告させていただきます。(順不同、敬称略)。

【物品の部】

匿名	衣類品
今井慎一(14区)	タオル
小川健太郎(15区)	電動ベッド
(有)タカオー木嶋	マッサージチェア
匿名	ブルゾン30枚
富澤サカ江(20区)	座布団10枚
桑原俊夫(4区)	タオル
佐竹征夫(21区)	車椅子、紙おむつ
ココロ	タオル、石けん
匿名	使用済テレホンカード
高崎法人会榛東支部	タオル

【金銭の部】

榛東カラオケ愛好会長 安田好男	30,000円
匿名	9,876円
楽集センター親善ゴルフ	120,000円
榛東村母子保護連盟(解散)	11,722円
匿名	76,592円
(株)オーケーコーポレーション	500,000円
福祉バザーチャリティーボックス	1,817円
産業祭マイ箸コーナー	19,686円
産業祭福祉バザー(10/18)売上	224,450円
星野久熾(3区)	75,000円
高橋弘二(17区)	50,000円
社協チャリティーゴルフ	64,129円
匿名	79,491円
酒井妙子(15区)	500,000円

交通安全会



榛東村交通安全会は、村内の全世帯が会員となり、会員一人ひとりが自分たちの力で交通事故・交通違反の撲滅を図るために組織されているものです。

この交通安全会の平成27年度における活動と決算の報告について

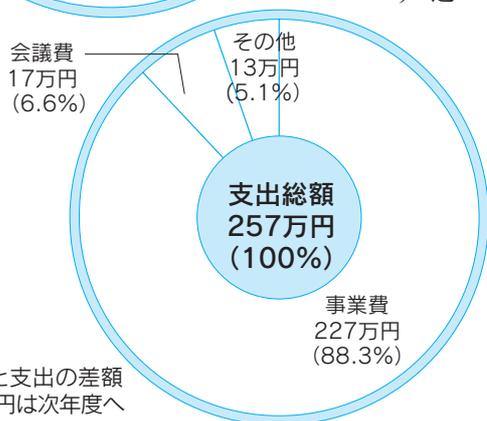
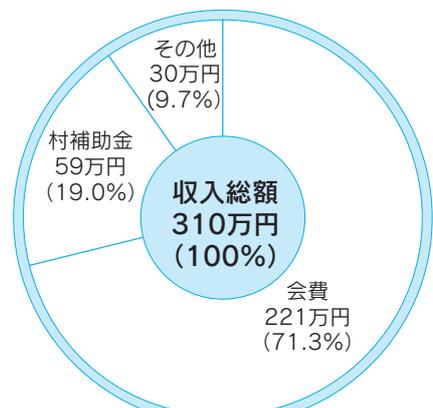
お知らせします。

事業と活動の概要は、次に示すとおりです。年間を通じて、交通事故を未然に防ぐ各種事業に取り組みました。

決算の状況は、左の円グラフに示したとおりです。歳入の中にある会費収入は、皆様のご家庭から納めていただいた年間500円の会費のことです。村からの補助金は、58万8,000円となっています。

平成27年1月から12月までの1年間における本村の人口10万人あたりの交通事故第一当事者数は、905人でした。これは、県内で最も多い人数でした。

今後も皆さん一人ひとりが交通安全を意識し、交通事故をなくすよう努めましょう。



※収入と支出の差額
53万円は次年度へ

主な事業

- ◆交通安全一斉街頭指導
- ◆交通安全夜間パトロール
- ◆交通安全街頭指導ならびに交通指導車によるモーニング広報
- ◆保育園・幼稚園親子安全教室
- ◆小・中学校交通安全教室
- ◆優良自動車運転者の申請取りまとめ(春・秋の計2回)
- ◆村づくり祭、駅伝大会などの各種イベント開催時における駐車場などの整理
- ◆カーブミラー清掃(村内全カ所)
- ◆広報「やまゆり」の発行
- ◆青パト講習会
- ◆新1年生対象交通安全教室

渋川交通安全協会から

「優良自動車運転者表彰」申し込みのご案内

渋川交通安全協会では、「平成28年度秋の優良自動車運転者」表彰候補者の取りまとめを次のとおり行います。各表彰基準に該当する方は、各区の交通安全理事(別表参照)にお申し込みください。

- 金章：15年以上無事故無違反の方
 - 銀章：10年以上無事故無違反の方
 - 銅章：5年以上無事故無違反の方
- 費用：630円(無事故・無違反証明書代金)を添えて申請してください。

■受付期間：7月15日(金)まで

■表彰基準：平成28年6月1日現在で次の年数になる方

- 旭日金冠章：40年以上無事故無違反の方
- 金冠金章：30年以上無事故無違反の方
- 金冠銀章：20年以上無事故無違反の方

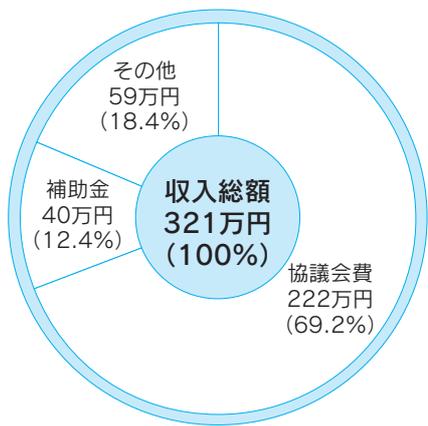
※申請後、受章の日までに交通事故・交通違反など法令違反を犯した場合は表彰されません。

▼お問い合わせは、役場総務課 ☎54-2211 内線252、または渋川交通安全協会 ☎22-1125へ

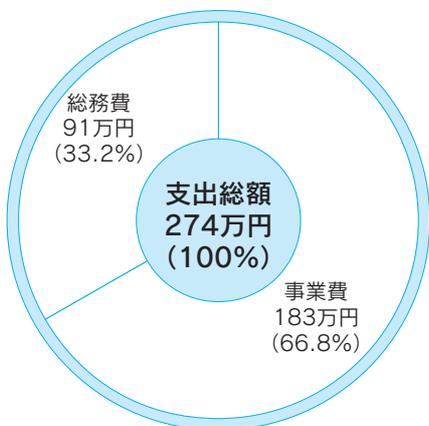
別表：各区の交通安全理事 (敬称略)

区-班	氏名	区-班	氏名
1区-3班	石川 一郎	12区-1班	薊 清孝
2区-1班	小林 一裕	13区-8班	南 誠
3区-11班	岡野 哲也	14区-13班	小山 延雄
4区-4班	齋藤 圭司	15区-9班	柿島 武治
5区-3班	三俣 成美	16区-9班	村上 誠
6区-6班	湯浅 幸弘	17区-10班	田村 啓一
7区-2班	高橋 俊一	18区-1班	狩野 鍬也
8区-5班	浅見 弘之	19区-4班	齋藤 滋
9区-19A班	小山 登一	20区-12班	岡崎 保義
10区-6班	岡部 俊幸	21区-8班	川田 善之
11区-6班	蜂巢 一彦		

環境美化推進協議会



※収入と支出の差額
47万円は次年度へ



環境美化推進協議会は、村民の皆さんと協力して住みよい榛東村を創り上げていきます。

決算は、左の円グラフに示すとおりです。歳入の中の協議会費は、皆さんのご家庭から納めていただいた年間500円の協議会費です。補助金は、村から40万円となっています。

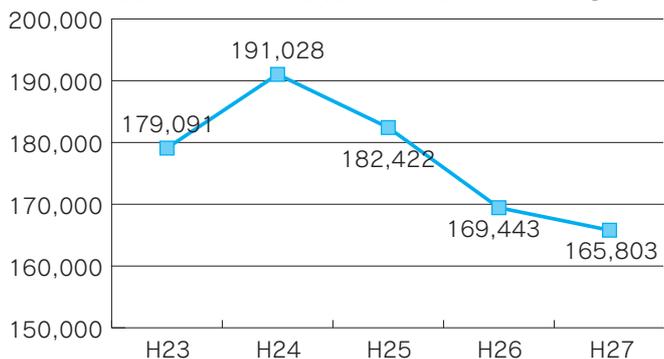
私たちは毎日、多くのものやエネルギーを消費して生活しています。この日々の生活に伴って、目に見えるところで、また見えないところで様々なごみが排出され続けています。このような課題を解決していくために、廃棄物の排出を抑制し、そのうえでリサイクル

を推進していく社会、すなわち循環型社会への転換を図っていかなければなりません。

そこで渋川地区広域市町村圏振興整備組合では、容器包装リサイクル法にもとづき、ごみの分別収集を行っています。榛東村でも、平成12年度からガラスビンやペットボトルの分別収集が開始されています。リサイクルを進め、循環型社会をつくるため、皆さんのご協力をお願いします。

環境美化推進協議会では、快適で住みよい地域社会の実現を図るため、自主的な組織活動を展開するとともに、村が実施する環境衛生行政を積極的に支援し、地域連帯のなかでの環境づくりに努めていきます。

図：資源ごみの自主回収量の推移 (単位：kg)



平成27年度団体別資源ごみ収集実績 (単位：kg)

2区育成会	7,111	11区育成会	9,172
4区育成会	8,182	12区育成会	1,559
5区育成会	11,412	15区育成会	14,940
6区育成会	16,741	16区育成会	9,918
7区育成会	9,930	17区育成会	10,390
8区育成会	16,730	18区育成会	5,791
9区育成会	11,610	19区育成会	10,020
10区育成会	3,730	21区育成会	5,426
第20区地域環境リサイクル活動部			430
榛東村ボランティア連絡協議会			420
榛東ヤングホープスポーツ少年団			6,038
榛東南リトルメッツスポーツ少年団			6,253
合計			165,803

資源ごみの分別回収にご協力を

- 主な活動**

 - ◆粗大ごみ搬出立会い(年12回実施)
 - ◆不法投棄ごみ一掃クリーン作戦
- 資源ごみの自主回収における、平成27年度の収集実績は、前年度に比べ、3,640kg減少しました。現状では、ペットボトル・ビン類などの資源ごみが可燃や不燃ごみとしてゴミステーションに出されている様子がまだ見受けられます。資源ごみは「ごみ」ではなく、様々なモノに生まれ変わる資源です。
- ◆資源ごみ搬出立会(各回収日実施)
 - ◆環境祭(エコフェスタ)の開催
 - ◆ゴミ収集計画の作成・配布など
- 月1回の資源ごみ回収はもちろん、各区の子ども会・育成会などの団体が行っている資源ごみの自主回収を活用し、「リサイクルの促進・ごみの減量化」のために、村民皆さんのご協力をお願いいたします。

体育協会

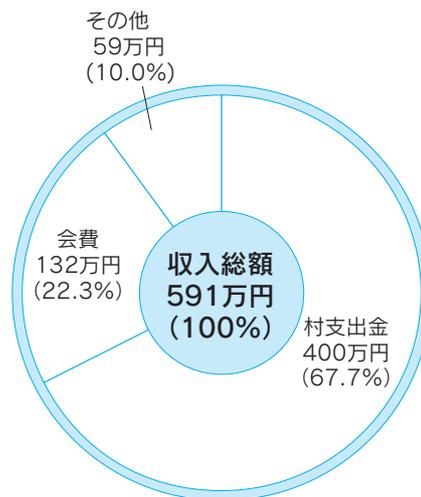
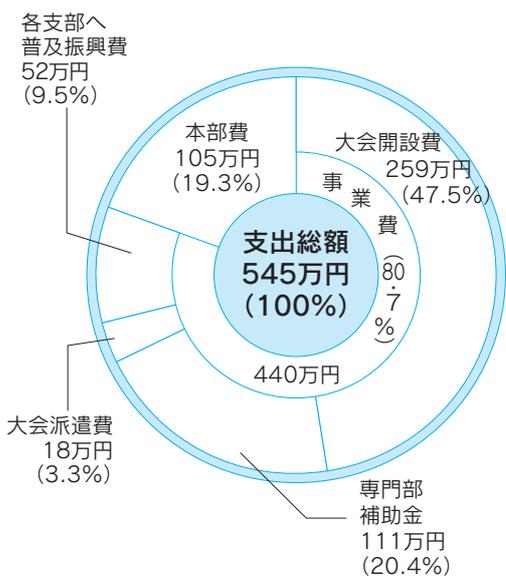


『いつでもどこでもみんなですポーツ』を合い言葉に、村の体育協会では、毎年、各種のスポーツ大会を開催しています。

この体育協会の平成27年度における事業と決算の報告が、4月14日に行われた定期総会において承認されました。

収入と支出の状況は、下のグラフに示したとおりです。収入の中にある会費収入は、皆さんのご家庭から納めていただいた300円の年会費のことです。支出の中の大会派遣費は、郡や県大会などへの選手派遣費です。

各専門部へ補助金として111万円、各区の支部へ普及振興費として52万円を支出しました。



※収入と支出の差額 46万円は次年度へ

榛東村スポーツ推進委員名簿 (敬称略)

区	氏名	区	氏名
1	○ 深津 明	7	狩野 祐吾
2	◎ 酒井 覚	9	柳澤 亮
4	桑原 一雅	13	一倉 佳一
5	一倉 学	16	内田 典之
6	○ 高橋 正子	21	君嶋 法子
6	伊藤 加代子		

(注)◎：委員長 ○：副委員長

スポーツ推進委員は榛東村におけるスポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びにスポーツに関する指導、助言や地域住民と行政のコーディネーター、スポーツ施策の推進役となることを目指し活動します。